

令和3年度  
(2021年度)

## 総合教育部の取り組み実績

<部長の方針・考え方>

- 教育大綱、教育振興基本計画に基づく取り組みの実現
- 教育委員会と市長部局の連携による施策の充実
- 誰一人取り残さないSDGsの目標を踏まえた取り組みの推進

### 具体的な取り組み：新しい学校づくりの推進

将来の児童・生徒数を見据え、教育環境の維持・向上のため策定した「枚方市学校規模等適正化基本方針」及び「枚方市学校規模等適正化実施プラン」に基づき、令和4年4月の高陵小学校と中宮北小学校の統合に向けて取り組みを進めます。令和3年4月には「枚方市新しい学校づくり協議会」を設置し、統合による新しい学校づくりにかかる諸課題への対応を円滑に進めます。新しい学校づくりにあたっては、これからの枚方市における学校づくりの指針となる「枚方市のめざす学校像」を作成し、それを踏まえ、新たな教育の推進モデルとなる「高陵・中宮北小学校の統合による新しい学校づくり」を作成します。ICT活用や新しい生活様式に対応した教育環境の充実・児童の安全対策、国際理解、英語教育、外国籍や障害、LGBT、感染症などの人権課題などに対応した枚方市における新しい学校づくりをめざします。また、統合に伴う中宮北小学校の跡地活用については、令和3年度に検討を行い、その考え方をまとめます。

<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>① 「枚方市新しい学校づくり協議会」による協議・調整、及び、保護者説明会等の開催。</li><li>② 学校統合に伴う関係条例等の一部改正。</li><li>③ 「枚方市のめざす学校像」、『禁野小学校における「新しい学校づくり」』の策定。</li><li>④ 中宮北小学校跡地活用の会議開催。</li></ul>
<b>説明</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>① 令和3年4月に保護者、地域、学校及び教育委員会等で構成する「枚方市新しい学校づくり協議会」を設置し、禁野小学校開校に向けた諸課題の整理や取り組みに関する協議を行いました。また、令和3年12月21日及び26日に、高陵小学校・中宮北小学校在籍児童並びに禁野小学校入学予定児童の保護者を対象とした「禁野小学校開校に関する説明会」等を開催しました。</li><li>② 統合による新しい学校名は、令和3年9月定例会議において、条例の一部改正を行い、公募により決定した「禁野小学校」の名称に正式に決定しました。また、通学区域に関する規程を一部改正し、高陵小学校と中宮北小学校の通学区域を禁野小学校の通学区域に改めました。</li><li>③ 教育委員会において、「枚方市のめざす学校像」を令和3年6月にまとめ、それを踏まえ、ICT活用や新しい生活様式に対応した教育環境の充実、児童の安全対策、国際理解、英語教育、外国籍や障害、LGBT、感染症などの人権課題な</li></ul>

	<p>どの取り組みに対応した、新校舎整備（高陵小学校敷地）のコンセプトとなる『禁野小学校における「新しい学校づくり」』を令和3年12月に策定しました。これを基本として、特色ある教育の取り組みとそれを実現するための環境整備に取り組みました。</p> <p>④ 庁内委員会における中宮北小学校の跡地活用に係る検討部会を設置し、活用計画をまとめる手順やスケジュールなどの協議を行い、令和4年度から庁内全体でその活用方法について検討していくこととしました。</p>
--	--

**具体的な取り組み：学校における新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策**

子どもたちの安全・安心を守るため、国の補助金や交付金も活用しながら新型コロナウイルス感染症対策を講じます。

児童生徒への感染防止の徹底のため、保健室等の衛生環境の向上に必要な次亜塩素酸水生成器、サーマルカメラ、二酸化炭素濃度測定器などの備品や消毒液などの購入予算を学校へ配当します。

学校給食における感染症対策については、給食当番を行う児童生徒の毎日の体調チェック・記録を行うとともに、「手洗い」「飛沫感染防止のため会話を控える」「机を向かい合わせにしない」などの感染防止対策の徹底に努めます。調理場においては、調理員の手洗い・消毒や飛沫感染防止はもとより、接触感染防止などの感染症対策を徹底します。

<p><b>実績</b></p>	<p>① 国の補助金を活用した感染症対策に係る予算の配当及び執行管理。</p> <p>② 国の交付金を活用したトイレ清掃委託、手洗い場の自動水栓化、各教室の二酸化炭素濃度測定器の配備等。</p> <p>③ 感染拡大防止対策を徹底しながら、小中学校全校で給食を実施。</p> <p>④ 調理従事者の感染防止対策の実施。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 国の補助金を活用し、感染症対策を目的とした予算を各学校に配当したことにより、オンライン配信に必要なスピーカーやタブレット三脚などの備品や消毒液等の消耗品を速やかに購入できました。これにより、感染拡大の中でも、児童生徒の自宅におけるオンライン授業を円滑に実施することができました。また、学校内生活における感染症対策の徹底ができました。</p> <p>② 国の交付金を活用して、トイレの清掃委託を実施したほか、手洗い場の適所に自動水栓を配備しました。さらに、各教室に二酸化炭素濃度測定器を配備し、良好な換気が可能となるよう感染防止対策に留意した学校運営を行いました。</p> <p>③ 文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等に基づき、給食時間中の指導（給食当番の健康観察・記録の徹底、給食の配食方法、手洗い、喫食時の注意点等）について、全学校に通知し、感染防止対策を徹底しながら給食提供を行いました。</p> <p>④ 学校給食管理基準に基づく調理作業及び従事者の健康管理における感染防止対策を徹底するとともに、不要な会話の制限や昼食時以外のマスクの着用、昼</p>

	食の時間帯をずらす、手洗いの励行等の飛沫・接触感染防止対策の徹底を図りました。
--	---

### 具体的な取り組み：学校水泳授業の民間施設の活用

児童の泳力向上、水泳授業における教員への支援と指導の充実及び老朽化する学校プールの維持管理、改修費用の縮減を目的に、民間施設を活用した学校水泳授業を開始します。

令和3年度については、小学校1校において民間委託により水泳授業を試行実施し、効果や課題について検証を行います。検証に基づいて令和4年度以降の取り組みについては、民間施設の活用、公設民営施設の新設、屋外プールの改修など、今後の学校プールのあり方について検討を行い、老朽度等に着目した実施校の選定や民間事業者の状況などを見極めながら、取り組み計画を作成します。

<b>実績</b>	①学校水泳授業の民間施設の活用に向けた取り組み。
<b>説明</b>	① 当初は、9月までに山田小学校1校でのモデル事業を完了する予定であったところ、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による数次の延期の結果、事業を実施することが困難となったため、令和3年度は、モデル事業を実施しないこととしました。 令和4年度の事業実施に向けて、学校及び民間事業者と、受け入れ許容人数等について協議を行い、契約締結に向け取り組みました。

### 具体的な取り組み：中学校の全員給食に向けた取り組み

中学校の給食は、魅力の向上や利便性の向上、情報発信の充実をめざして取り組むとともに、令和3年度は、全員給食の事業手法の再精査など課題となっている財源確保の検討を行います。また、生徒や保護者等へのアンケート調査の結果を踏まえ、申込み時にご飯の量を選択できるようなシステムを改修するとともに、子どもたちが食べたくくなるような給食の検討や小学校の栄養教諭と中学校の栄養教諭の連携を進め、「中学校でも給食」といった児童への意識醸成を図るなど、実現に向けた取り組みを進めます。

<b>実績</b>	① 中学校給食の魅力・利便性の向上に向けた予約システムの改修。 ② 中学校給食の今後のあり方についての意見聴取会を設置。 ③ 給食に対する子どもたちの意識向上に向けた取り組みの実施。
<b>説明</b>	① 生徒が主食の量を選択できるシステムの導入や給食費の自動口座振替を開始し利便性の向上を図るなど、喫食率向上に向けた取り組みを行うとともに、広く保護者・生徒に周知を行いました。 ② 有識者・PTA・学校関係者等で構成する「中学校給食あり方懇話会」を設置し、

	<p>様々な意見聴取を行うとともに、中学校給食の持続可能なあり方、生徒にとって望ましい給食のあり方について検討を進めました。</p> <p>③ 生徒が学校給食への興味・関心を高めるよう、入賞作品を給食の献立として採用する「学校給食コンテスト」を開催するとともに、世界の料理を献立に取り入れ、広報周知に取り組みました。</p>
--	--

**具体的な取り組み：児童生徒の通学路の安全対策**

通学路の安全確保のため、「枚方市通学路交通安全プログラム」に基づいて、警察や道路管理者と連携して定期的な合同点検の実施、実施後の効果測定など、継続的な取り組みを進めます。

また、通学距離や安全面からバス通学が必要と認められる児童生徒の保護者に対して、バス通学に関する費用を補助するなど、安全な通学環境の確保に取り組んでいます。児童生徒のバス利用状況をモニタリングしながら当該路線の増便などについてバス会社と協議を行うなど、引き続き、安全な通学環境を確保していきます。

さらに、児童生徒の登下校における安全・安心を高める観点から、令和2年度より民間事業者が提供する広域見守りサービスを一部校区へ導入しており、令和3年度は加入率向上の取り組みを進めるとともに効果検証を行ったうえで、全校区への拡大をめざします。

<b>実績</b>	<p>① 通学路における合同点検の実施。</p> <p>② 路線バスを2便増便。(臨時便)</p> <p>③ 中学校4校と小学校9校で広域見守りサービスを導入。</p>
<b>説明</b>	<p>① 学校から報告のあった通学路の危険箇所について、警察や道路管理者と定期的な合同点検や改善を実施したほか、千葉県八街市での事故を受けて、市内の歩車分離がなく、車両通行が比較的多い通学路を抽出し、緊急に合同点検の箇所を拡大しました。その結果を踏まえ、必要箇所に路面標示やポール設置等の安全対策を講じました。令和4年度も引き続き通学路の安全について取り組んでいきます。</p> <p>② バス通学が必要と認められた地域について、通学の安全確保のため、京阪バス(株)と協議を重ねた結果、令和3年度より学校運営日にあわせ、臨時便として1日最大2便のバスの増便が実現しました。今後も乗車状況等の検証を行いつつ、引き続き、学校や保護者等と連携しながら通学路の安全対策に取り組んでまいります。</p> <p>③ 民間事業者と令和2年度に協定を締結し、令和3年9月には津田中学校、枚方中学校、東香里中学校、桜丘中学校と同校区内の小学校9校(枚方小・春日小・桜丘小・津田小・香陽小・川越小・桜丘小・津田南小・東香里小)にサービスを導入しました。今後もその他の市内校区への導入に取り組めます。</p>

## 具体的な取り組み： 図書館施策（電子図書館・学校図書館支援事業など）について

ICTの進展及びコロナ禍における新しい生活様式にも対応した図書館サービスとして、令和3年7月を目処に電子書籍の貸し出しを開始し、市民が自宅や出先から24時間いつでも電子書籍を活用できるよう、利便性の向上を図ります。

児童生徒の読書習慣の確立や情報活用能力の育成をめざし、全19中学校に加え、小学校12校に配置（2校兼務）された学校司書と連携しながら、学校図書館機能の向上及び充実を図ります。さらに、学校図書館システムの管理・技術的支援等を行うとともに「学校教育支援用団体貸出」など図書の出出により学校図書館への支援に取り組みます。

令和3年度は、枚方市立図書館第4次グランドビジョン等を踏まえ、第4次枚方市子ども読書活動推進計画の策定を行います。

枚方市駅前「図書館」については、駅近のメリットを生かすとともに民間施設や他の公共施設とつながりを持たせ、子どもや高齢者、子育て世代などにも利用しやすいスポットとしていきます。

<p><b>実績</b></p>	<p>① 「ひらかた電子図書館」の導入。          &lt;蔵書数：6,793タイトル&gt;、&lt;貸出数：17,860冊&gt;、          &lt;実利用者数：2,313人&gt;、&lt;ログイン数：32,733回&gt;</p> <p>② 学校司書への支援及び学校図書館機能の充実。          &lt;市内全小学校の学校図書館での一人当たりの年間貸出冊数：23.72冊&gt;、          &lt;学校教育支援用団体貸出回数（受付件数）：小中学校458件、          貸出冊数：9,376冊&gt;</p> <p>③ 第4次枚方市子ども読書活動推進計画の策定。</p> <p>④ 枚方市駅前「図書館」をひらかたサンプラザ3号館4階から5階に移設。          &lt;来館者数：33,516人&gt;、&lt;貸出冊数：100,219冊&gt;、          &lt;予約数：67,227件&gt;</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 電子図書館の導入により来館型の図書館とは異なり、24時間利用することができ、また、音声読み上げ対応や動く絵本など、電子図書館の特性を活かしたサービス提供が可能となり、多様なかたちで読書を楽しむ環境整備を図りました。</p> <p>令和4年度は新規利用者を増やしていくため、電子図書館の積極的なPRに努めます。今後は利用者のニーズにあわせ、電子書籍のタイトル数を増やしていくことが課題です。</p> <p>② 新たに学校司書を配置した小学校では学校図書館の機能向上を図ることができました。これにより、市内全小学校の学校図書館の年間貸出冊数が増えました。調べ学習や並行読書など授業における学校図書館の活用も促進され、市立図書館の学校教育支援用団体貸出の利用も増えました。</p> <p>子どもの読書活動推進及び情報活用能力の育成に向けて、学校教育部と連携して、さらなる小学校への学校司書配置に向けて取り組みます。</p>

	<p>③ 令和4年3月に策定した第4次枚方市子ども読書活動推進計画は、枚方市立図書館第4次グランドビジョン等を踏まえ、計画期間を令和4年度から8年度までの5年間とし、子どもの発達段階に応じた読書活動の環境づくりに取り組む方向性を示したものです。図書館では日々の選書や、様々な事業を通じ、子どもが読書を楽しみ、発達段階に応じた多種多様な資料を通して知的好奇心を喚起させる場として、また、家庭に向けての啓発、地域及び学校と連携しながら子どもの読書活動を推進する取り組みを進めています。</p> <p>令和4年度以降も、子どもの不読率を減少させ、本をたくさん読む子どもを増加させることにより、子どもの「生きる力」を育成する取り組みを進めます。</p> <p>④ 枚方市駅前「図書館」については、駅近のメリットを生かす観点から、建物内で移設を行い、引き続き予約図書を受け渡しに特化したサービスを実施しました。</p> <p>令和4年度以降、市駅周辺再開発の中で、③街区市駅前図書館について、利便性の高い立地を活かし、幅広い年齢層の読書活動推進につながる施設として検討していくものです。</p>
--	--

### 具体的な取り組み：教育委員会の活動の見える化

子どもたちを取り巻く環境の変化に応じた教育施策を推進するため、市長と教育長、教育委員とで構成する「総合教育会議」も活用しながら、市と教育委員会の連携を深めるとともに、教育委員会と学校の情報共有を密にし、より一体的に施策の充実を図ります。

そのうえで、地域や保護者との更なる連携を図るため、学校の取り組みや子どもの状況等について、ICTを効果的に活用しながら積極的に情報を発信し、教育委員会の活動の見える化を進めます。

<p><b>実績</b></p>	<p>① 総合教育会議の開催。 ② 学校ブログの本格運用に向け取り組み。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 令和3年12月21日に、「総合型放課後事業の取り組みについて」を案件として、第1回総合教育会議を開催しました。会議では、本市が放課後の子どもたちの居場所づくりの課題として捉えている、「子どもの育ちへの支援」、「子育て環境への支援」、「放課後の安全な居場所づくり」、「児童の安全確保と効果的・効率的な運営」の4つの項目をテーマとして、市長と教育長、教育委員にて協議・意見交換を行い、事業に関する課題等の十分な情報共有を図ることができました。</p> <p>② 各学校の子どもの様子や、地域との連携事業などを円滑に情報発信するための手段として、試験的に開設した「学校ブログ」について、連日のブログ更新による情報発信頻度の増加、写真掲載によるわかりやすさ、親しみやすさの向上といった事業効果を踏まえ、令和4年度からの本格実施に向け、予算化を図りました。</p>

## 具体的な取り組み：社会教育の推進

SDGsの目標「質の高い教育をみんなに」をはじめ、「すべての人々に健康的な生活を確保」や「ジェンダー平等を達成」などを踏まえ、市民が人生100年時代を豊かに生きていけるよう、暮らしに役立つ社会制度をテーマにした社会教育基礎講座や、子育て支援を行う家庭教育支援事業、人権を尊重することの大切さを伝える社会教育（人権）講座のほか、日本語・多文化共生教室「よみかき」などを実施します。また、実施にあたっては、必要な人に必要な情報が的確に届くよう、効果的な情報発信に努め、誰一人取り残すことのない教育を進めます。

なお、昨年度は新型コロナウイルス感染症対策で、講座や「よみかき」など一定期間の中断を余儀なくされた事業もあったことから、令和3年度は感染拡大のため施設利用が出来ない状況となっても、添削方式など学習機会を提供できる手法を検討しながら取り組みます。

<p><b>実績</b></p>	<p>① 『絆〜きずな〜』を共通のテーマに設定し、新型コロナウイルス感染症の感染状況などを注視しながら、「家庭教育支援事業」、「社会教育基礎講座」、「社会教育人権啓発事業」を実施。</p> <p>＜事業への延べ参加者数：2,379人＞</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 家庭教育支援事業として、参加者同士の話し合いを通じて、自らの子育てを振り返る機会を提供し、子育てに関する気づきを促す「子育て応援！親学講座」（参加1人／定員10人）や、「親子で楽しもう！LED工作教室 ～あかりについて楽しく学ぼう～」（参加15組32人／定員15組30人）、「親子で楽しむ リサイクル木工教室」（参加8組17人／定員10組20人）、「乳幼児期の今こそ！未来に向かう力（非認知能力）を育てよう！」（参加25人／定員60人）、「私にわかる方法で教えて～発達障害絵本『学校コワイ』に込めた思い～」（参加33人／定員40人）、「思春期のこころの世界とより良い見守り方」（参加40人／定員40人）を実施しました。</p> <p>社会教育基礎講座は、前年度から引き続き連続講座である、自分が住む地域の歴史に触れる「地域歴史講座『初歩の初歩』」として、「地域歴史講座 第2回 初歩の初歩 川越（旧川越村地域）の歴史」（参加40人／定員40人）（以下、「第〇回 〇〇の歴史」とする。）、「第3回 枚方地区（旧枚方町地域）の歴史」（参加35人／定員40人）、「第4回 枚方市東部（旧津田村・菅原村・氷室村地域）の歴史」（参加37人／定員40人）、「第5回 山田（旧山田村地域）の歴史」（参加35人／定員40人）、「第6回 牧野・招提（旧殿山町地域）の歴史」（参加33人／定員40人）、「第7回 楠葉（旧樟葉村地域）の歴史」（参加38人／定員40人）を実施しました。</p> <p>社会教育人権啓発事業である「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」については、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら教室開催を行うとともに、中断期間においては、日本語による手紙を受講者へ発送するなど、少しでも日本語に触れる機会を提供したほか添削方式を取り入れるなどし、学習</p>

	<p>機会の提供に努めました（延べ 1,062 人参加／延べ 422 回実施）。また、「あなたの身近にもいる LGBTQ+～レズビアン」の保健室の先生が伝える性の多様性～」（参加 9 人／定員 40 人）等を実施しました。</p> <p>令和 4 年度においても、超スマート社会やグローバル化の進展など社会が激しく変化する中、SDGs の目標「質の高い 教育をみんなに」を念頭に、市民が人生 100 年時代を豊かに生きていける取り組みを展開します。</p>
--	--

### 具体的な取り組み：学校施設の環境整備の推進

小中学校のトイレについて、洋式化、個室化、ユニバーサル化、ドライ化を標準的な仕様として整備します。

教室及び体育館の空調整備については、令和 3 年 3 月末で「枚方市学習環境整備 PFI 事業」が事業期間の満了となったことを踏まえ、教室棟の空調設備の更新及び維持管理手法と学校体育館への空調整備について可能性調査を行います。

なお、上記内容については「都市整備部の取り組み」においても記載しています。

<p><b>実績</b></p>	<p>① 「枚方市学校整備計画」に基づくトイレ改修工事を実施。        &lt;トイレ改修工事の実施学校数：小学校：22 校、中学校 9 校&gt;</p> <p>② 学校教室等の既設空調設備の更新、体育館への空調設備の整備手法を検討。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 「枚方市学校整備計画」に基づき、トイレ改修工事を実施しました。今後、小中学校のトイレの洋式化・ドライ化等については、令和 5 年度の整備完了をめざします。</p> <p>② 小中学校教室等の既設空調設備の更新及び体育館への空調設備の整備については、可能性調査により事業手法を DBO 方式とすることや、事業費・財源について検討を行いました。また、体育館への空調設備整備については、令和 4 年度に事業者を公募し、令和 5～6 年度に整備工事を行うことや、教室等への空調設備整備については、令和 6 年度に事業者を公募し、令和 7～9 年度に整備工事を行うことなど、実施方針を取りまとめました。</p>